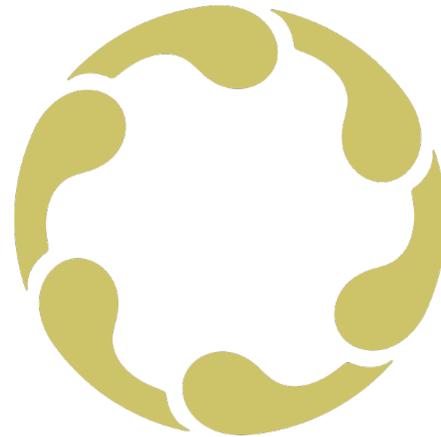


# Web3.0の時代を切り開くブロックチェーン技術 （SHIMENAWAサービスで実現を目指す未来）



**SHIMENAWA**

## 会社概要

- SBIホールディングス株式会社100%子会社として2021年4月22日に設立
- 昨今、サプライチェーン全体の透明性や、アカウントビリティ（説明責任）が強く求められる時代に突入し、SBIトレーサビリティ株式会社では、ブロックチェーン<sup>(注)</sup>を活用し、そのような社会的課題に対して、ソリューションを提供していきます。

(注) ブロックチェーンとは、電子署名とハッシュポイントという耐改ざん性のあるデータ構造を利用し、データの変更履歴をネットワーク上で共有することで、価値の保存を可能とした技術をいいます。

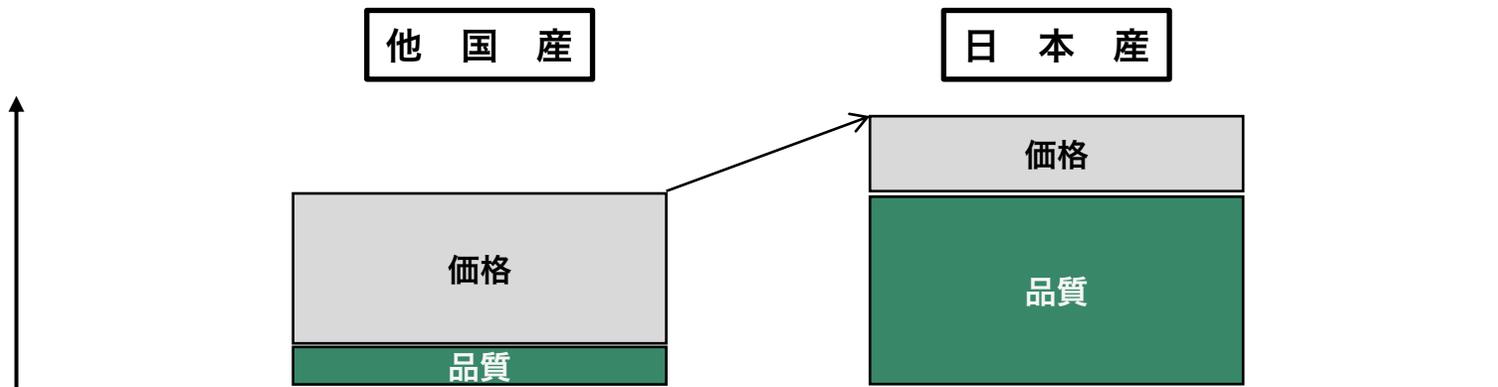
社名	SBIトレーサビリティ株式会社
企業ロゴ	
所在地	東京都港区六本木一丁目6番1号 泉ガーデンタワー
代表者	代表取締役 輪島 智仁
資本金	1億円（資本準備金1億円）
株主	SBIホールディングス株式会社 100%
事業内容	ブロックチェーンを活用したトレーサビリティ・サービスの提供など

**電子署名とハッシュポインタという耐改ざん性のあるデータ構造を利用し、  
データの変更履歴をネットワーク上で共有することで、  
価値の保存を可能とした技術**

# 私たちが実現を目指す未来 ①

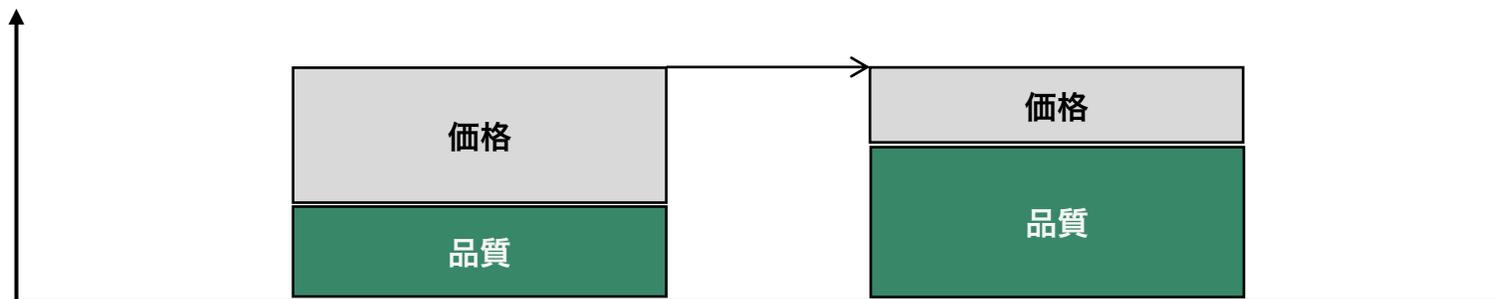
過去

海外市場での価値評価



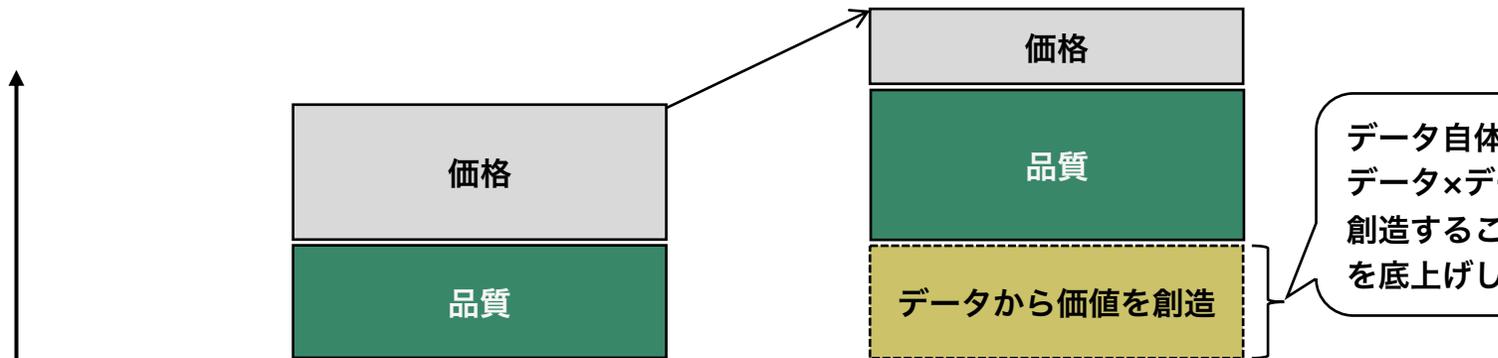
現在

海外市場での価値評価



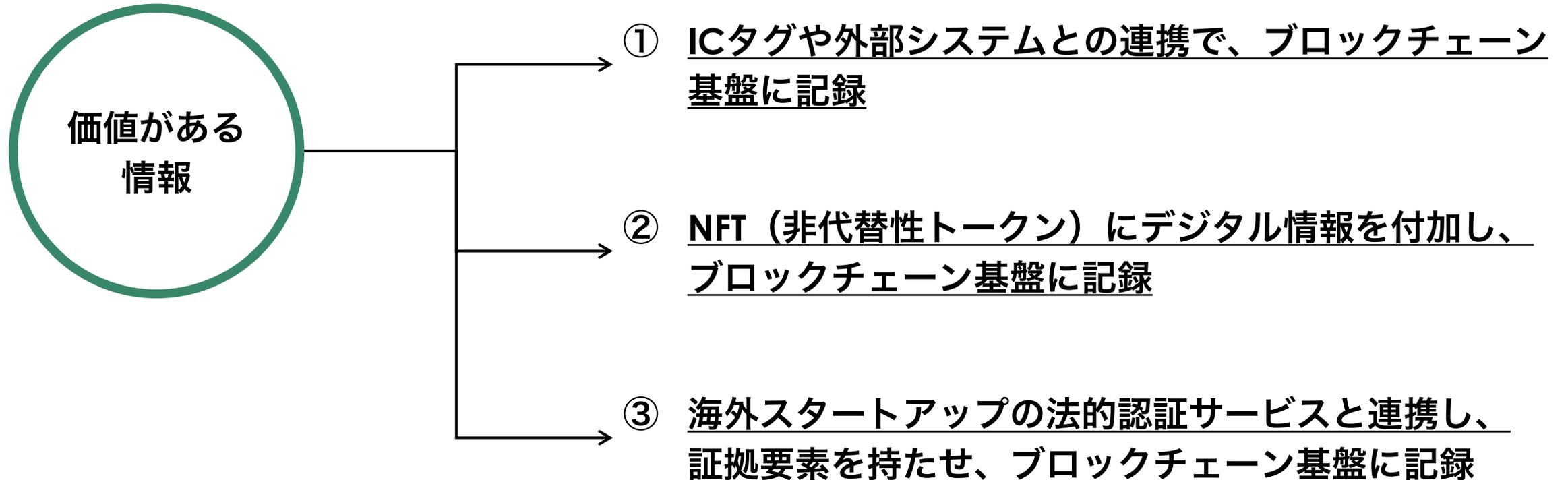
未来

海外市場での価値評価



データ自体に価値を付す、  
データ×データで新しい価値を  
創造することで、日本産の価値  
を底上げしていく

まずはブロックチェーン基盤に書き込むデータの真正性は以下の仕組みで担保



ブロックチェーン基盤に記録されることで改ざんされずに、商流で共有（透明性・公正性を担保）

世界的な金融機関（バークレイズ、ゴールドマン・サックス、JPモルガン、バンカメ、シティグループ、モルガン・スタンレーなど70社以上）が主導したコンソーシアムにて要件が設計され、開発された「Corda（コルダ）」という

国際的な3大ブロックチェーンの1つであり、企業間取引で優位性がある基盤を採用

**c.rda**

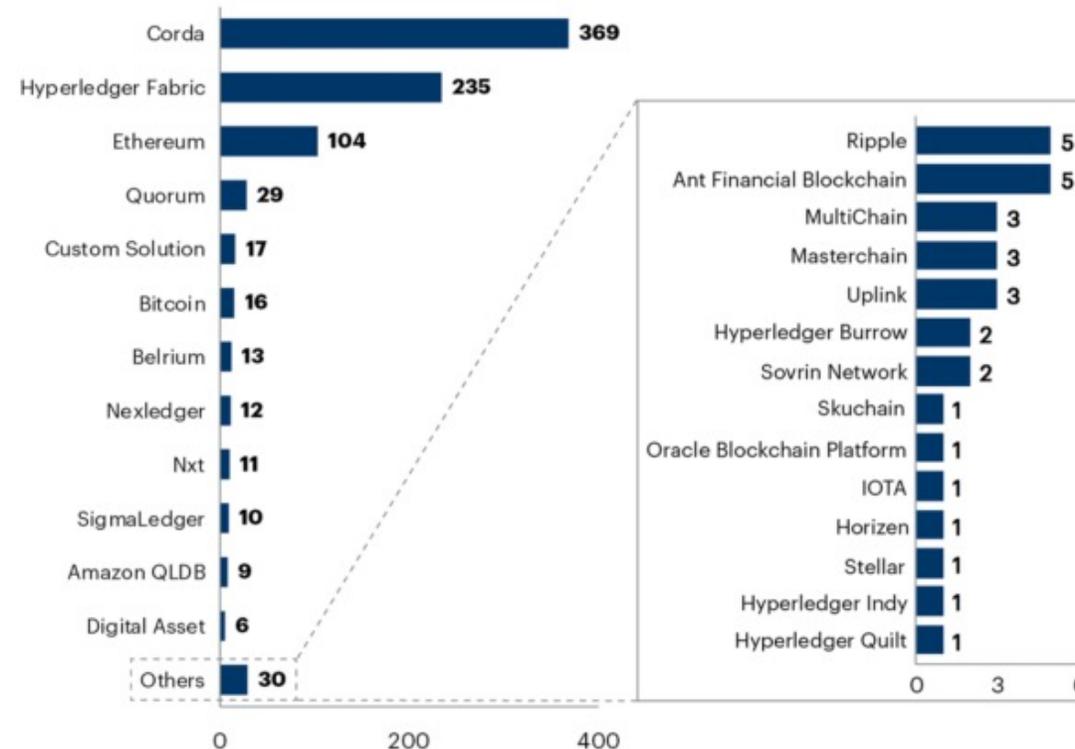


特徴の一つ「インターオペラビリティ（相互運用性）」に注目

2020年世界のブロックチェーン・プロジェクトでは、  
「Corda (コルダ)」 が最も（4割以上のプロジェクトで）採用されました

Figure 5: Primary Blockchain Technologies Utilized in Consultancy Engagements, 2020

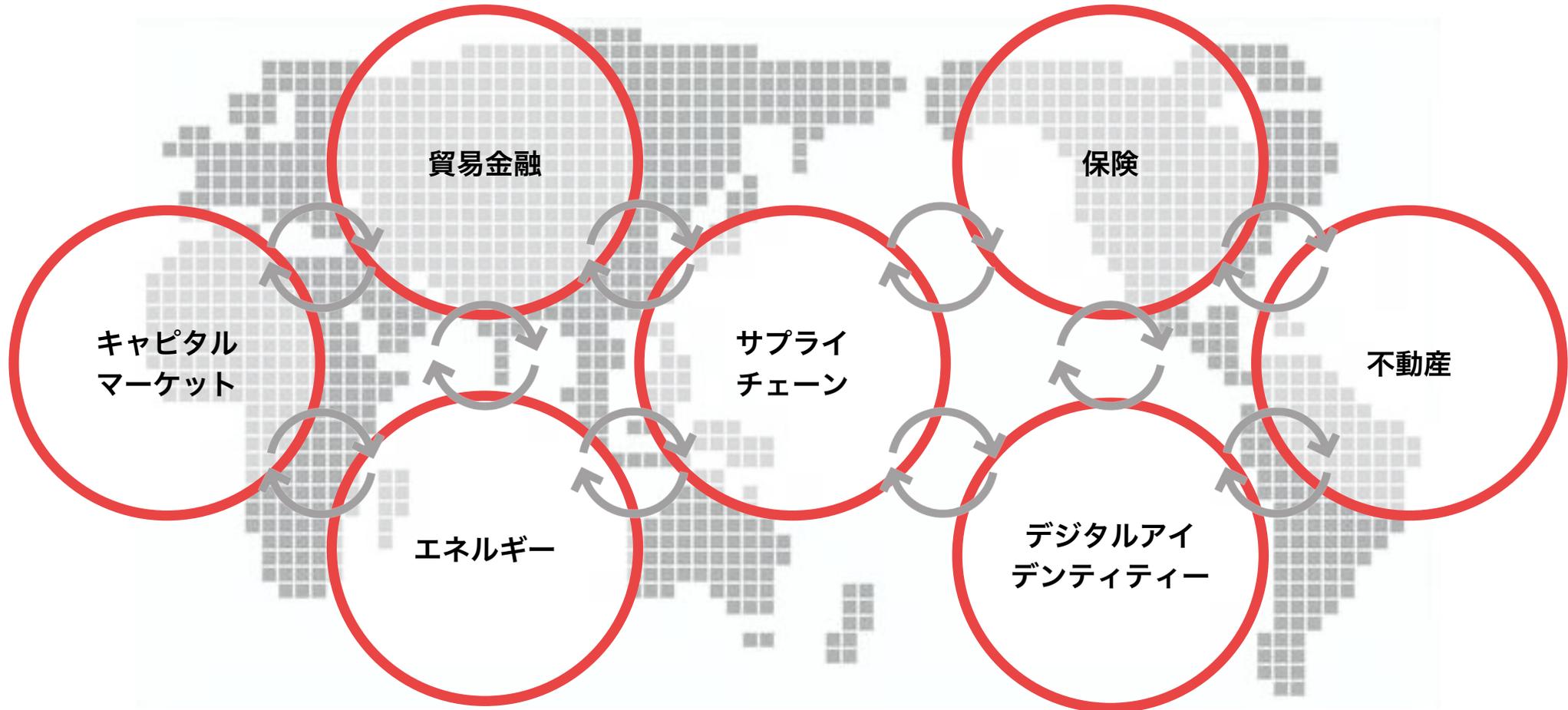
Primary Blockchain Technologies Utilized in Consultancy Engagements, 2020



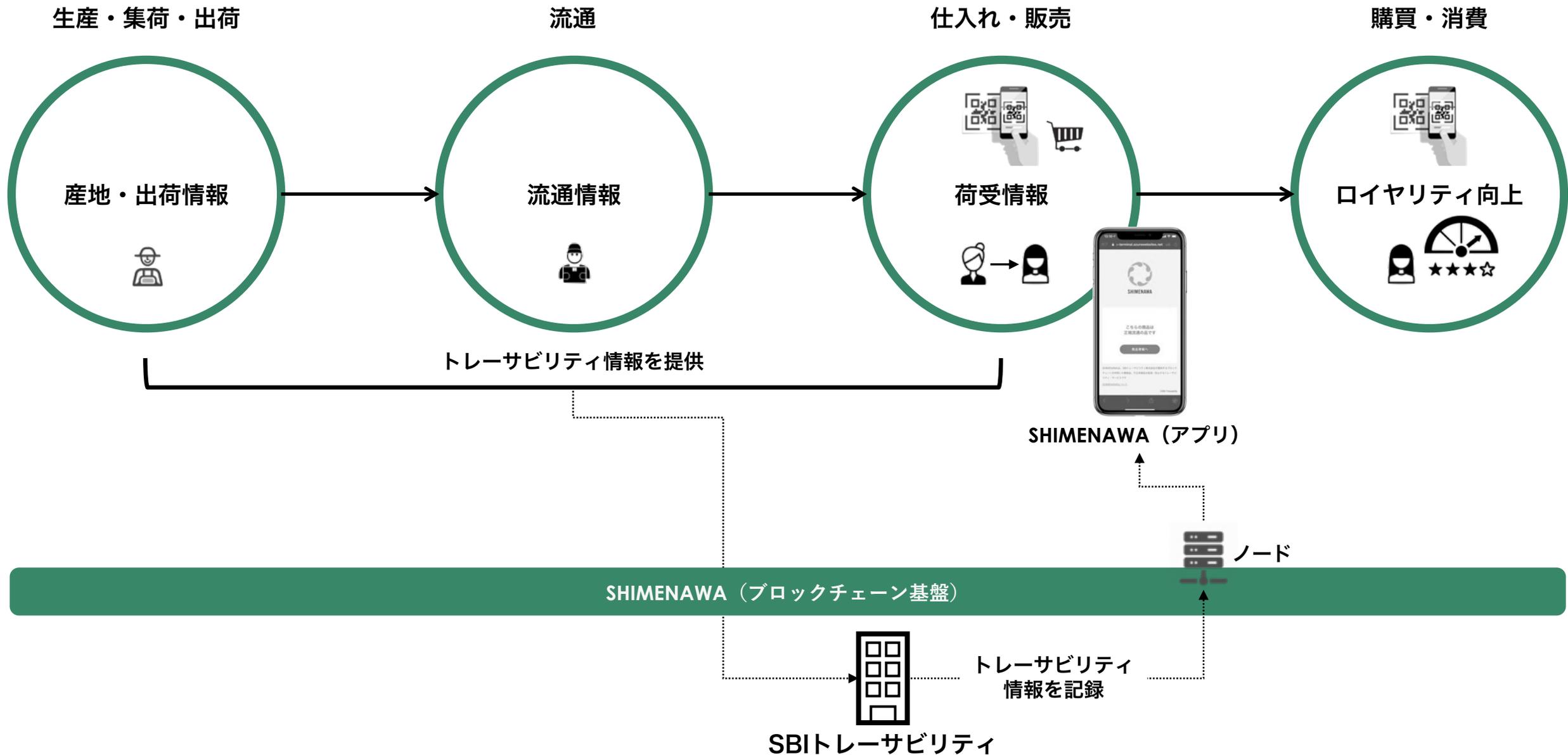
Source: Gartner  
733890\_C

(注) Gartner, Inc. (米国の調査会社) 調査レポートより

「Corda (コルダ)」の強み 「インターオペラビリティ (相互運用性)」で、パズルのピースが揃うように、世界中の様々なサービス連携による進化が期待できます



# プロトタイプとして開発した「SHIMENAWA (しめなわ) ver.1.0」



## サービス名称「SHIMENAWA（しめなわ）」の由来

---

日本には古来より、神の領域と現世を分け隔てる『結界』として、不純なものが入るのを防ぐ役目を担う”しめ縄”という、とても縁起のよい縄があります。

そこでわたしたちのブロックチェーンを活用したサービスでは、この”しめ縄”と同じように情報の改ざん（不純なものが入るの）を防ぎ、常に真の情報をお届けする大切な役目を担いたいという想いを込め、サービス名称を「SHIMENAWA」と命名したものです。



作り手、売り手のブランドを守り、良い商品を消費者に届ける。持続可能な社会に貢献する「SHIMENAWA」の循環を、家紋のような標で表現。

# 上海ローソン様での「SHIMENAWA（しめなわ） ver.1.0」のご使用事例

以下、販売に関する詳細情報です。

1. 販売期間：

2021年12月8日（水）から

2. 実施店舗：

中国上海市のローソン店舗 約1,150店舗

3. おにぎりの販売数量：

約9万個（2022年1月末時点）

4. 販売内容：

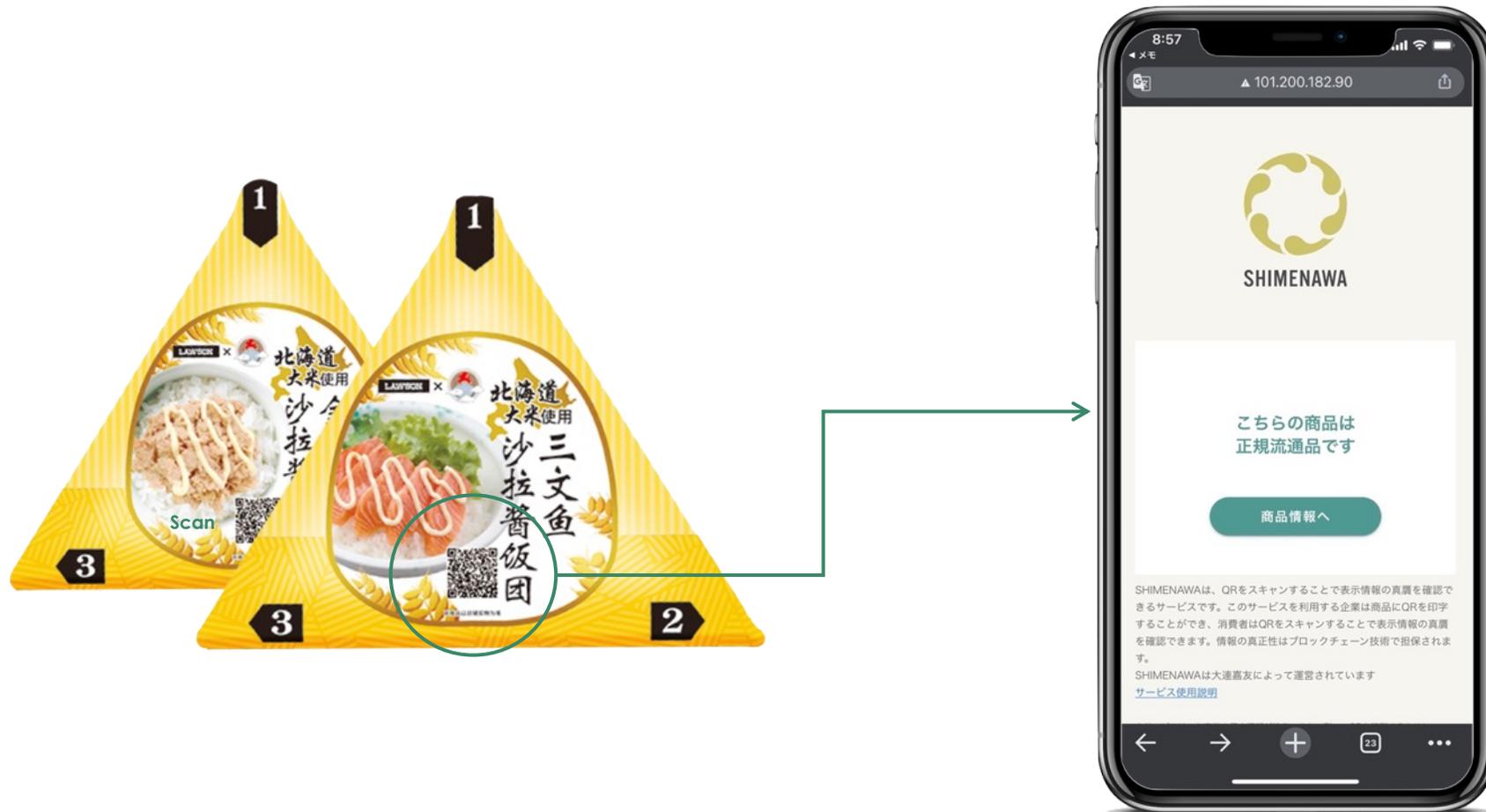
日本産米を使用したおにぎり2種類（ツナマヨネーズ、鮭マヨネーズ）

5. 本事業の主催者：

一般社団法人全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会



# 「SHIMENAWA (しめなわ) ver.1.0」へのアクセス



おにぎり（商品）パッケージ自体にロット単位の識別コードを二次元コードとして印刷し、現物とトークン（デジタル情報）を紐付け。  
お客さま（消費者）がお手元のスマートフォン・カメラ機能で二次元コードをスキャンするだけで、  
トークン（デジタル情報）の識別コードと認証、正規流通品であるかを自動判定

# 「SHIMENAWA (しめなわ) ver.1.0」での「商品情報」画面 ①



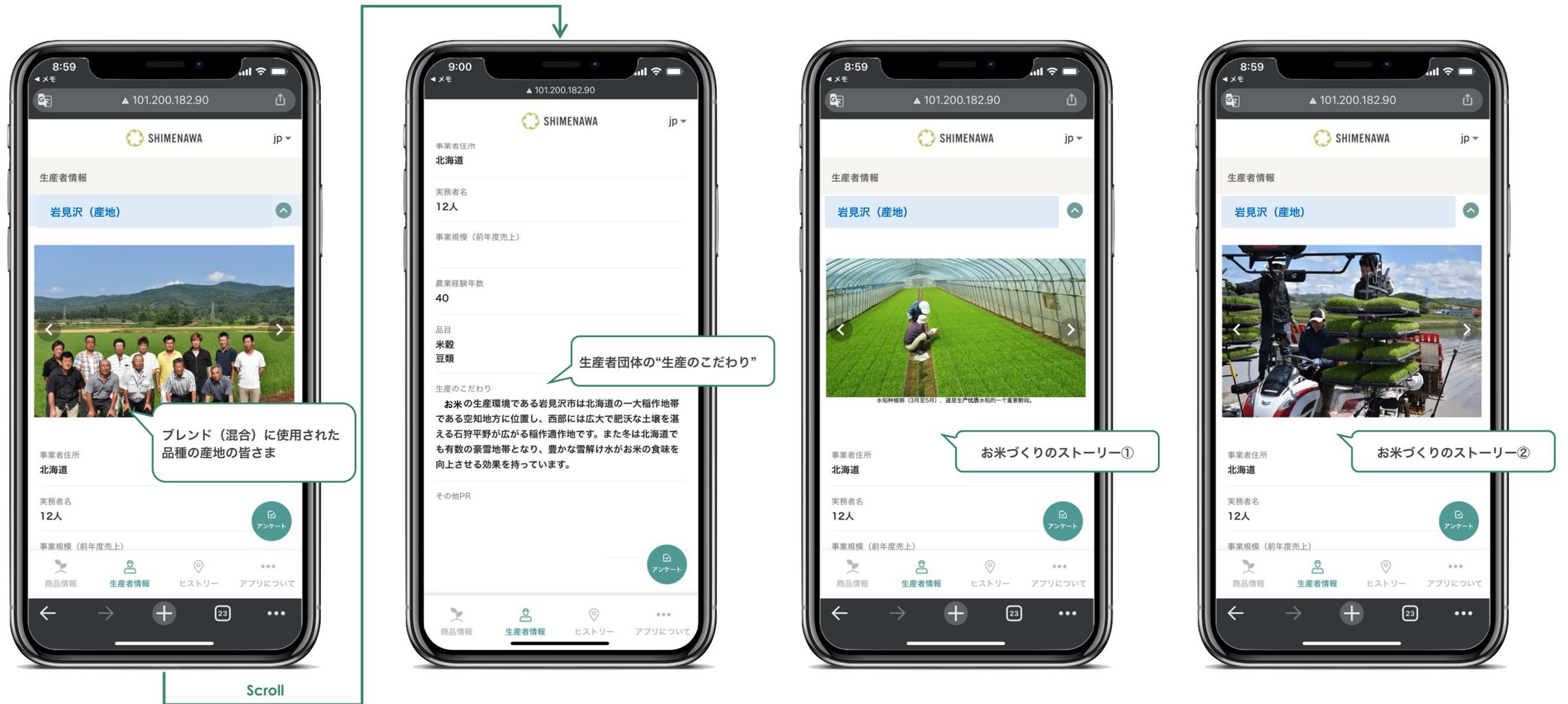
まずは店頭にある「おにぎり（商品）」を表示させることで、  
お客さま（消費者）のお手元にある“現物”と“デジタル情報”をリンクさせ、原材料（日本産米）の詳細情報をご確認いただくUXをご準備

## 「SHIMENAWA (しめなわ) ver.1.0」での「商品情報」画面 ②



原材料 (日本産米) の情報に国際規格に準拠した「第三者の適合性評価による認証制度」の認証取得情報を紐づけることで、産地などの出荷元から、商流上で紐づく事業者から提供されているトレース情報の真正性が高いであろうという安心感をバイヤーや消費者に醸成

# 「SHIMENAWA (しめなわ) ver.1.0」での「産地情報」画面 ①



産地生産者の顔や、生産にかける想い、ブランドが持つストーリーをエモーショナルに伝えることで、  
生産者に対するありがたい想起や、リスペクトを醸成

## 「SHIMENAWA (しめなわ) ver.1.0」での「産地情報」画面 ②



産地生産者の顔や、生産にかける想い、ブランドが持つストーリーをエモーショナルに伝えることで、  
生産者に対するありがたい想起や、リスペクトを醸成

# 「SHIMENAWA (しめなわ) ver.1.0」での「産地情報」画面 ③



産地の魅力として、素敵な風景・観光スポットや名産品などの情報も合わせ伝えることで、  
産地が抱える経済的な課題に対して観光需要の創出につながる副次的効果も狙えます

# 「SHIMENAWA (しめなわ) ver.1.0」での「履歴 (トレーサビリティ) 情報」画面



入出荷情報がブロックチェーン上に記録された地点をマップ上で辿るように結び、流通来歴 (履歴) を表示。

原材料 (日本産米) のトレーサビリティの情報をマップ上で可視化することで、

バイヤーや消費者に原材料 (日本産) の安全にかかる安心感を醸成



本件に関するお問い合わせは、下記のご連絡先までお願いいたします。

お問い合わせ先

SBIトレーサビリティ株式会社 担当 輪島、生永、趙

電話：03-6229-0723

メール：[contact-ta@sbigroup.co.jp](mailto:contact-ta@sbigroup.co.jp)